

# 「熊本の学び」の推進を支え、学力向上を目指す「熊本の学び」アクションプロジェクト ～本県の子供たち誰一人取り残すことなく、最大限に学びを保障するために～

★「熊本の学び推進プラン」では、授業を「子供たちの学びの側」から考え、子供たちが学びを通して「わくわく」したり、「やってみよう」とつぶやいたり、一人一人が学習した内容を十分に理解し、「分かった」「できた」という実感や達成感が生まれる授業を目指しています。そこで、子供たちの基礎学力を保障するため、令和3年度から5年度までの3年間「熊本の学び」の推進を支え、学力向上を目指す「熊本の学び」アクションプロジェクトを県全体で進めます。

## 「熊本の学び」アクションプロジェクトで大事にする2つの柱

### 【先生達が授業を中心に取り組むこと】

#### 柱1 誰一人取り残さない学びの保障

□達成感や学習意欲が生まれるように、「分かる・できる」まで一人一人に関わりましょう。

##### 重点取組

個に応じた指導・習熟度別指導の拡充

読み・書き・計算の習得の徹底

定着確認の徹底

読解力向上の取組実践

例えば…【授業等で週に1回程度は】【漢字習得の際に】


それぞれのコースに分かれて、確認してみましょう。



これならできるな

※分かる喜びを実感させながら  
※学習指導員等と連携しながら

習った漢字を使って、宿題の日記を書いたね。



※家庭の協力も得ながら

【單元ごとに】

前に学習した問題と同じ考え方で解いてみましょう。




分かった！こうすれば…

もっとやってみよう

※身に付くまで粘り強く

【学習活動の工夫の中で】



図や表を結びつけて、自分の考えを説明しているから、分かりやすいな。

※各教科において実践

### 【学校と行政が連携して取り組むこと】

#### 柱2 教員一人一人の授業力向上

□学校組織一体となって、一人一人の先生方の授業力向上を目指して取り組みましょう。

##### 重点取組

学校運営に関する助言の強化

授業観察の習慣化

校内研修内容の重点化

構想・省察の習慣化

●行政  
学校管理職が果たす役割や困りごとについて、解決方法等を共に考えるなど、管理職をフォローする。

●学校管理職  
日々の授業見回りはもとより、学校規模に応じて、例えば個々の教員当たり週に1コマ程度を目安に、計画的に授業観察と指導助言を行う。

●学校管理職  
学校が抱える課題のうち、特に早急な対応が必要な事案について、学校全体で問題意識を持ちながら解決を図るようにする。

●教員  
児童生徒が各単元等の「ゴールの姿」に到達するように、学習を構想するとともに、授業・単元終了後は、結果を省察することを習慣化する。

※「熊本の学び推進プラン」大切にしていきたい3項目等を参照